

文殊山ハイキング

コースは、お花の多い所を行き帰り少し道を変えて往復します。カタクリ群生地では少しお花が咲いていましたが、ほとんど蕾が多く、当日は群生地できれいなお花がたくさん咲いているかと思います。シュンランもたくさん株があり咲だしていました。タムシバも蕾がたくさんついていて当日が楽しみです。みなさまのご参加をお待ちしています

◆コースの様子



綺麗な樹林を行く 4等三角点 点名 西袋 お花がいっぱいです。 小文殊 天狗杉



山頂からの眺望① ② 胎内めぐり 2等三角点文殊山 奥の院

◆歴史



松平忠直公墓所① ② ③ 文殊山城跡 堀切

※松平忠直公：文禄4年6月10日生まれ。結城秀康の長男。妻は、徳川秀忠の娘、勝姫。慶長12年(1607年)、13歳で越前北庄藩主松平家2代となる(67万石)。大阪冬の陣で真田幸村を討つなどの大功をたてた。のち乱行や将軍家に対する不遜な行動が重なり、元和9年改易となり豊後(大分県)萩原に流された。慶安3年9月10日死亡。56歳。

※文殊山城跡：(戦国時代) 365m 泰澄大師により開山。文殊山を管理する楞嚴寺が戦国大名朝倉氏の祈願寺であったことから、朝倉氏が織田信長や一向一揆に備えて築城した可能性が高い。城の規模は大文殊を中心に小文殊、奥の院まで広がる大規模なもので、山岳霊場をこれほど要塞化した例は畿内では珍しい。

これまでに、郭(くるわ、曲輪)が48カ所、堀切が19カ所、堅堀が11カ所、畝堀が10カ所確認されている。山城には、福井城や姫路城、大阪城のような近世の城で見られるような石垣は使用されていない。(現地案内板より)



◆自然観察 たくさんのお花が咲きだし、当日が楽しみです。カタクリの群生地も丁度見ごろのようです。



スミレ



カンスゲ



ショウジョウバカマ



キブシ



タムシバ



シュンラン



白花：イカリソウ



カタクリ



カタクリ群生地
蕾がたくさんあり



ネコノメソウ



ヒメエンゴサク